



# 成田中だより

令和5年12月18日  
 成田市立成田中学校  
 TEL 0476-22-0304  
 生徒数 504名  
 文責 濱谷 昌人

〈令和5年度学校教育目標〉『 夢 へ 』

「誰もが夢を持ち、明日も行きたいと思える学校」を生徒とともに目指します！

いつの間にか師走です ～お互いの頑張りを認め合いながら・・・～



## ◎「一生懸命がかっこいい！」冬の風物詩「長距離走」 ◎クラスの生徒達と真剣勝負する先生の激走！

体育の時間、成中生が元気に長距離走に取り組む日が続いています。12月になると見られるようになるこの光景は、成田中学校の冬の風物詩となっています。一生懸命頑張るほど身体的苦痛を伴う長距離走は、生徒達にとって決して人気種目ではないとは思いますが、それでも、成中生は一生懸命走ります。そして、走り終えた後は、実に清々しい表情をしています。「一生懸命が当たり前」の学校に成長しているのを嬉しく思います。「一生懸命がかっこいい！」・・・今の成中生にはピッタリの言葉ではないでしょうか。

寒くなってきました。今年もいよいよ「師走」を迎え、間もなく1年の終わりを迎えようとしています。昇降口前にある、成中名物の大きな銀杏(いちょう)の葉が黄色く染まるのが今年は遅かったような気がしています。これも、地球温暖化の影響でしょうか？少し不安な気持ちにもさせられますが、木の下芝生の黄色い落ち葉で鮮やかに彩られ綺麗です。その黄色い絨毯(じゅうたん)を、外掃除の生徒やボランティア部の生徒達が、毎日一生懸命掃き集めてくれていて、少しずつ銀杏の葉も少なくなってきました。この銀杏の葉がなくなると、本格的な冬が到来することになるでしょう。

さて、今年は3年以上に渡り続いていたコロナによる制限がほぼ解除され、学校でも地域でも多くの行事を開催できたことを嬉しく思っています。成田山新勝寺や参道をはじめとする地元の名所が賑わいを取り戻し、祇園祭をはじめとする地元の行事が以前の姿を取り戻すことのできた1年間だったのではないのでしょうか。そして、成田中学校も、合唱コンクールをはじめ、4年振りに全校生徒が一堂に会しての集会や行事を催すことができるようになりホッとするとともに、そんな中精一杯頑張る成中生の輝く姿を見ながら無事1年の終わりを迎えようとしていることに、感慨深い気持ちになってきます。

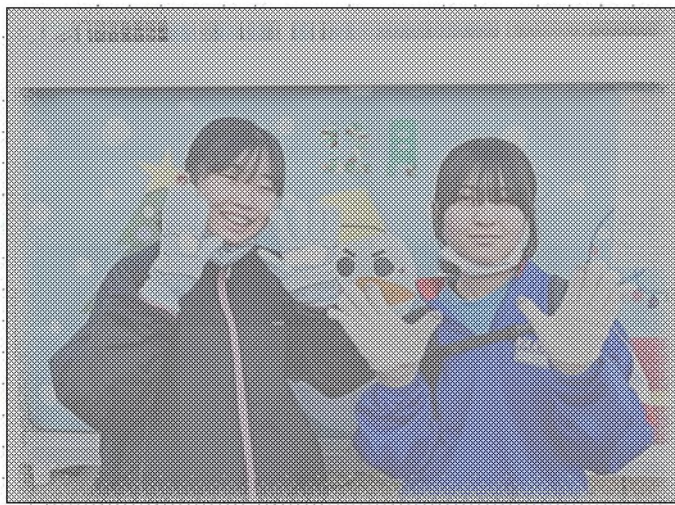
無我夢中で1年間突っ走ってきた人も多いのではないのでしょうか。特に、3年生の皆さんはそうだと思います。1学期には修学旅行や最後の体育祭があり、夏の最後の大会やコンクールを終え、2学期には合唱コンクールに全力で臨み、今は進路実現に向け必死に頑張る日々です。これまでの人生の中でこんなに中身の濃い1年

間はなかったかもしれませんがね。最後の三者面談も終わり、今は入試に向けて面接練習や出願準備が行われています。そして、そんな中でも、毎日の歌声活動を充実させているところに、今の3年生に成中生としての誇りを感じる日々です。そんな3年生だからこそ、私は心から応援したくなるのです。師走に入り大変な毎日が続いていますが、夢や目標を見失うことなく頑張ってください。

誰もが忙しいと言われる12月ではありますが、クラス、委員会、そして、部活動など様々な集団でのお互いの頑張りを認め合いながら、この2023年（令和5年）を気持ちよく終わらせたいものです。



## 手袋の季節 ～寒い季節は、手袋が皆さんを守ります！～



師走に入り、本格的に寒さが増してきました。（一昨日の土曜日は、季節外れの陽気になりましたが・・・）吐く息は白く、間もなく霜も降りるようになることでしょう。そんな寒い季節を迎え、成中生の皆さんには、昨年に引き続き、ぜひお願いしたいことがあります。それは、寒い日は、手袋を着けて登下校してほしいということです。

寒い日は手がかじかみ、指が思うように動かなくなります。自転車を運転してくる皆さんにとっては、ブレーキに必要な握力やハンドル操作にも影響してきます。いざという時にブレーキを掛けられなければ、命にも関わってきます。また、徒歩通学の皆さんは、寒いとついつい

手をポケットに入れたり、袖の中に手を隠したくなってしまいます。これから、路面が凍る日も出てきますので、その状態で転んだりすると骨折にも繋がります。また、手袋はクッションの役目も果たしますので、転んだ時には身を守ってくれるのです。どうか成中生の皆さん、命のためにも、手袋を着けることを心掛けてみてください。

### 【手袋フォト】寒い朝の撮影に、ご協力ありがとうございました！



## 2年生心肺蘇生法教室 ～いざという時に、人命を救える人に！～



12月13日（水）、成田市消防本部の救命救急士の方々をお迎えして「心肺蘇生法教室」を実施しました。2年生の皆さんが保健体育科の授業の一環として心肺蘇生のための実習を受けましたが、救命救急士の方々が真剣に実習に取り組む成中2年生の皆さんの実習態度に感心していました。たくさん褒めていただき、私も嬉しかったです。そして、2年生の皆さんにとっては、今後の人生に生かしていくことのできる、大変貴重な時間になったと思います。

病気や事故などで心肺停止になった人を救うには、救急車が到着するまでの間に、そばに居合わせた人が速やかに心肺蘇生などの応急手当を施さなければならないことを、2年生の皆さんはよく理解できたことと思います。そして、今後心臓が止まってしまうような重大な事故が目の前で発生してしまったときには、勇気を出して今回学んだ心肺蘇生術（心臓マッサージ・人工呼吸）を施せる人であってほしいです。心臓と呼吸が止まってからの時間の経過とともに命を救える可能性は急激に低下していくとのこと。だからこそ、救急車が到着するまでの間、心肺蘇生やAED（自動体外式除細動器）などの応急手当を施すための心構えを持ってほしいです。我々大人にとっても、皆さんにとっても大変な勇気が必要なことですが、いざという時に人命を救える人間でありたいです。



## 部活動大会速報！ ～バスケット部女子が文化祭大会見事に優勝！～

## ～バレー部文化祭大会第5位、陸上部新人駅伝大会で男女ともに10位！～



バスケットボール部が、12月16日（土）・17日（日）の2日間に渡り成田市文化祭大会に臨みました。参加全チームを2つのリーグに分け総当たり戦を行い、それぞれのリーグで順位を決めましたが、女子チームがリーグ戦全勝で見事に優勝を果たしました。ガードのT.R.さん(1年)が華麗に運んだボールを他のメンバーがしっかりと受け、どの角度からも確実にシュートを決めていました。4戦全勝での優勝は見事でした。特に、キャプテンのO.Y.さん(2年)のシュート決定率が高くチームを勢いづけました。今回の優勝を大きな自信としてほしいです。一方、男子チームはリーグ3位に終わったものの、キャプテンのG.R.さん(2年)を中心にチームの雰囲気

気がとても良く、これからの成長を期待させてくれる大会となりました。新人戦の時から確実に成長しています。男女とも、1月に開催予定の印旛郡市バスケットボール大会桜井杯での活躍を期待したいです。

次に、バレーボール部も、12月9日(土)・10日(日)の2日間に渡り、成田市文化祭大会に挑んできました。初日の予選リーグでは選手全員がボールをよく拾い、セッターのK.I.(2年)さんが、どんな体勢からも絶妙のトスを上げ、全員が積極的にスパイクを打ち込み見事に予選リーグ突破!どこからでも打てるのが、成田中バレーボール部の持ち味です。そして、キャプテンのU.H.さん(2年)を中心とするチームワークが光っていました。残念ながら、2日目の準々決勝で敗れはしたものの、確実にチームとして進化していると感じさせる大会となりました。今回の文化祭大会での5位入賞は、チームとしての飛躍の第一歩になったはずです。どんなに寒い日でも、外でも体育館でも熱心に練習に励むバレーボール部です。この冬は、チーム内で切磋琢磨してさらに進化していくことになるでしょう。

最後に、12月10日(日)、新人戦最後の種目となる「印旛郡市中学校新人駅伝競走大会」が岩名運動公園を発着とするコースで開催されました。戦前から続き、93回の伝統を誇る「印旛駅伝競走大会」の中で、中学の部として実施されました。12月とは思えない好天にも恵まれ、一般や高校の部も行われていたこともあり、会場や沿道からはたくさんの声援が飛び交いました。そして、成田中女子チームは最長エース区間の1区をM.R.さん(2年)が7位の好順位でスタートを切り、その貯金を生かしその後も粘ってアンカーのK.M.さん(1年)が区間2位の力走を見せ、10位でのゴールとなりました。また、男子チームは、最長区間の2区を走ったエースI.Y.さん(2年)が7人抜き快走を見せ、最終的には女子チームと同じ10位でのゴールとなりました。男女とも長距離専門の選手の人数が少なく、1か月前からこの新人駅伝出場のために長距離練習に加わってきた短距離陣が健闘し男女とも10位でのゴールは立派だったと思います。力を出し切った男女駅伝チームは、ゴール後とても爽やかな笑顔でした。この冬しっかりと走り込み、来年秋の駅伝大会では、ぜひ念願の県大会出場を果たしてほしいです。

運動部は、どの部も本格的な冬季練習に入ってきました。辛い練習もあると思いますが、来年の夏をイメージして、この冬を乗り切っていってほしいです。「練習は嘘をつかない!」「努力は裏切らない!」ことを信じて・・・頑張れ、成中部活動!応援しています。

